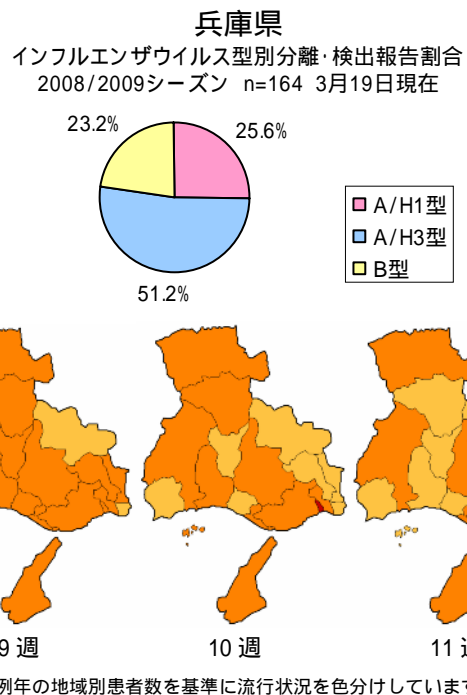
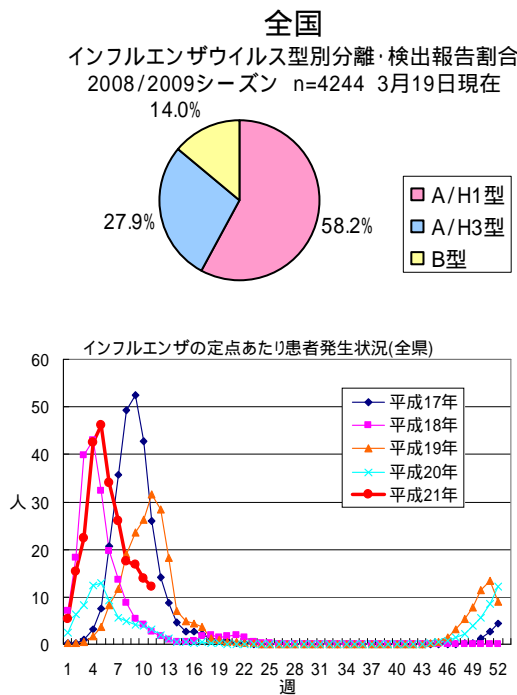


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

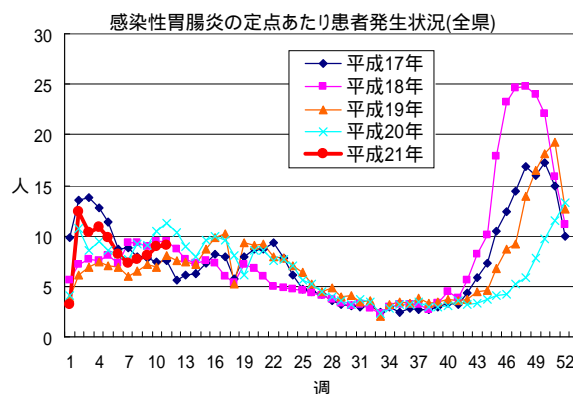
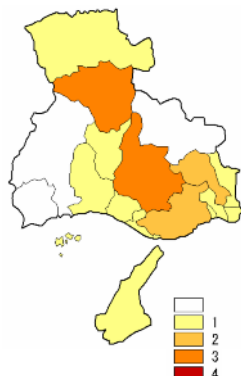
今週、定点あたりの患者数はやや減少し、**12.12 人** (先週 13.91 人) となりました。県内の学級閉鎖等の状況は、第 10 週の集計で 127 施設 (第 9 週 130 施設)、欠席者数 1,163 人 (同 1,309 人) と先週からやや減少しました。3 月 19 日現在、インフルエンザウイルスの検出は、全国では A/H1 (A ソ連) 型 2,469 件、A/H3 (A 香港) 型 1,182 件、B 型 593 件となっていて、A/H1 (A ソ連) 型の検出数が半数以上を占めています。また、B 型の分離割合が増加傾向にあるようです。県内では A/H1 (A ソ連) 型 42 件、A/H3 (A 香港) 型 84 件、B 型 38 件が検出されていて、依然として A/H3 (A 香港) 型の検出が最も多くなっています。シーズン後期には B 型の流行がみられることがあります。患者数や学級閉鎖等の減少割合が鈍化しており、今後も注意が必要です。



定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

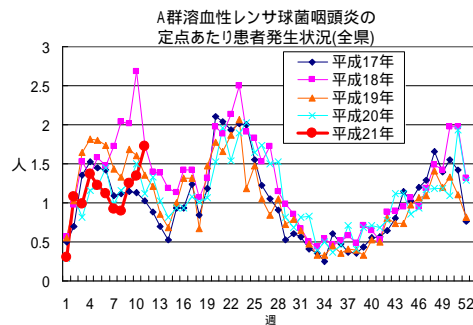
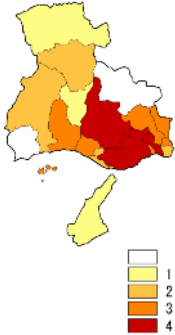
感染性胃腸炎

患者数は今週も増加し、第 7 週以降増加が続いています。患者検体から検出される病原体はノロウイルスであることが多いですが、これから春に向かってロタウイルスも増加するといわれています。



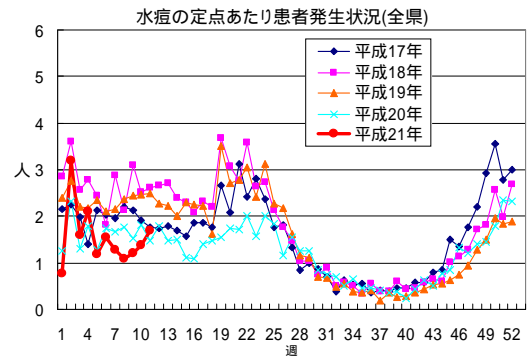
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週も患者数が大きく増加しました。冬期に流行がみられ、学童期の小児に多い感染症です。神戸市、西宮市、保健所管内での報告数が多くなっています。



水痘

3週連続で患者数が増加しました。例年冬期から6月頃まで流行がみられる感染症で、もうしばらく注意が必要です。



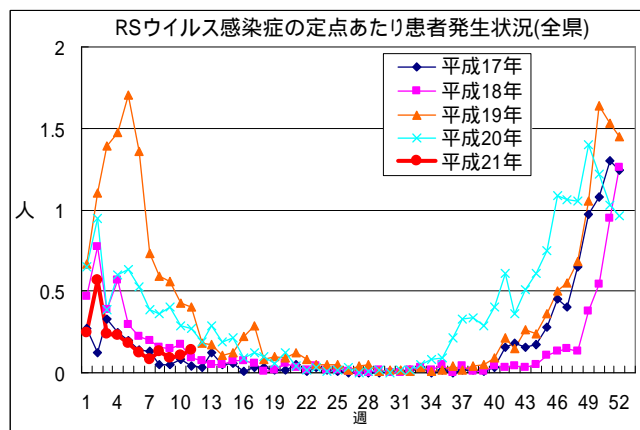
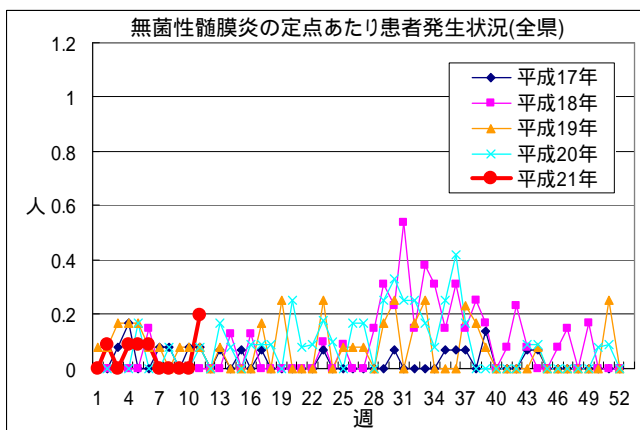
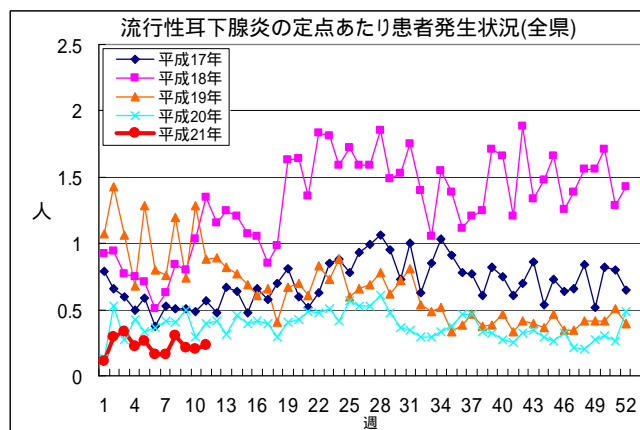
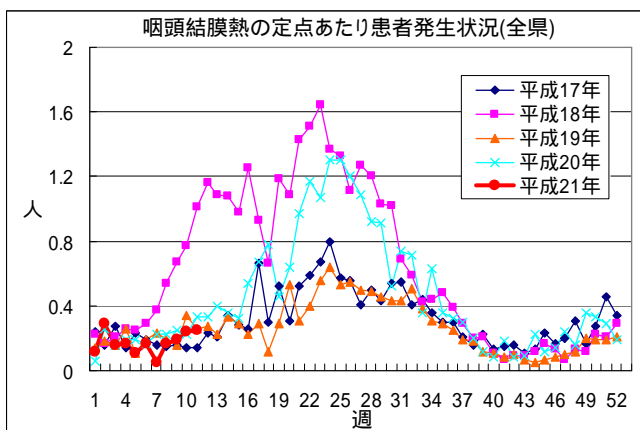
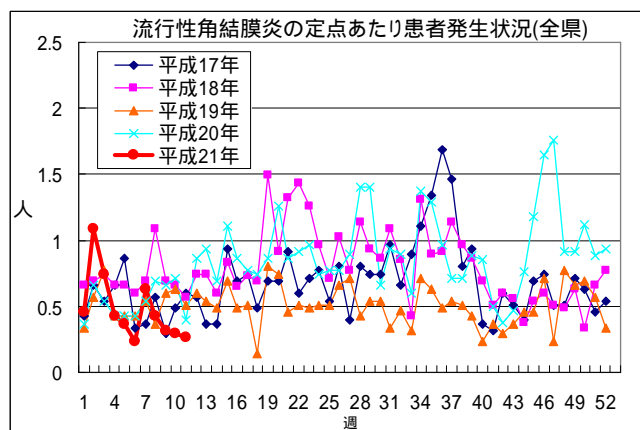
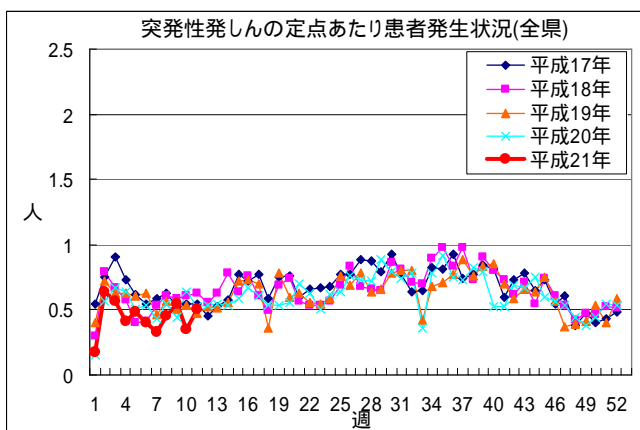
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	12.12	13.91	- 1.79	6位	流行性角結膜炎	0.26	0.29	- 0.03
2位	感染性胃腸炎	9.02	8.93	+ 0.09	7位	咽頭結膜熱	0.25	0.24	+ 0.01
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.72	1.34	+ 0.38	8位	流行性耳下腺炎	0.23	0.20	+ 0.03
4位	水痘	1.69	1.38	+ 0.31	9位	無菌性髄膜炎	0.20	0.00	+ 0.20
5位	突発性発しん	0.50	0.35	+ 0.15	10位	RSウイルス感染症	0.14	0.11	+ 0.03

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 19名（神戸市8名、尼崎市2名、姫路市1名、西宮市1名、伊丹保健所管内5名、加古川保健所管内2名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1名（洲本保健所管内；0157 VT1+VT2+）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	アメーバ赤痢 2名（伊丹保健所管内、龍野保健所管内） 後天性免疫不全症候群 1名（無症候性キャリア） 梅毒 1名（伊丹保健所管内/無症候） 風しん 1名（神戸市；26歳/検査診断/ワクチン接種歴無/海外渡航者）
追加報告	結核 2名（尼崎市；第10週、伊丹保健所管内；第10週） 腸管出血性大腸菌感染症 2名（神戸市；第9週/0157 VT2+、第10週/026 VT1+） 風しん 1名（姫路市；第8週/0歳/臨床診断/ワクチン接種歴無）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。